

熊本県央水災害対策合同会議 議事概要

【第5回白川・緑川水系流域治水協議会】

【第2回熊本県央地域水防災意識社会再構築協議会】

【令和6年度白川・緑川水防連絡会】

【令和6年度白川・緑川洪水予報連絡会】

日 時 : 令和6年 4 月 25日(木) 13:30～15:30

場 所 : ホテル熊本テルサ「たい樹」の間及び WEB 会議

出 席 : (対面)熊本県(河川課、砂防課、下水環境課、危機管理防災課、農地整備課、企業局
発電総合管理所、県央広域本部土木部、宇城地域振興局、上益城地域振興局、
県北広域本部土木部、阿蘇地域振興局)、熊本県警察本部、熊本中央警察署、
熊本南警察署、熊本東警察署、宇城警察署、御船警察署、熊本市、宇土市、宇
城市、阿蘇市、合志市、美里町、大津町、菊陽町、高森町、南阿蘇村、西原村、
御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町、防衛省、国立研究開発法人森林研
究・整備機構森林整備センター、西日本電信電話株式会社、NHK熊本放送局、
一般財団法人河川情報センター、熊本地方気象台、九州森林管理局、緑川ダ
ム管理所、阿蘇砂防事務所、熊本河川国道事務所
:(WEB)環境省、JR 九州、九州電力、日本気象協会、阿蘇ジオパーク推進協議会、
九州防災エキスパート会、パースト24、鶴屋百貨店、テトリアくまもと、熊日会館

I. 次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
 - 1)各協議会規約
 - 2)流域治水の取組について
 - 3)気象・防災情報の共有について
4. 閉会

II. 意見交換での主な意見

・黒川の中長期的河川改修計画の策定に向けて、黒川激特事業および川づくりに係る連絡協議会が設置・開催されたことで、現在跡ヶ瀬地区の遊水地の整備促進が進められている。しかし黒川下流域の河道掘削による、河川断面の確保は地域にとって、また災害防止にとって重要であるにもかかわらず進捗が芳しくないのが、これが課題として残っていることを強調したい。

・水の水源涵養について、各機関から連絡があったが、地下水が本来どこから来ているのか、整合性をもった統一的な見解を示すことができないか。水の水源涵養、地下水の問題は熊本県における今後の大きな課題になると思うので、何らかの科学的根拠を持って、住民にとっての命の水をどのように集約していくのか、ということを本会議の中で大きな課題として扱ってほしい。

・熊本地震、熊本豪雨からの復旧復興に多大なる支援を頂き、国・県には感謝している。近年、熊本県においても豪雨による大きな被害が連続して発生している。これは地球温暖化の影響であり、河川改修などのハード対策では限界があると感じている。流域自治体をはじめとした関係者が連携してソフト対策を組み合わせることで総合的に対応していくことが重要であることから、流域治水プロジェクトが策定されたものと認識している。益城町では内水氾濫被害を軽減させるために、排水ポンプ場2箇所を運用するとともに、ポンプ場までの都市下水路の整備に取り組んでいる。またソフト対策として、自助共助による防災体制の強化などを行っている。国や県に対しては河川改修の促進とともに、流域自治体の取組への支援・協力をお願いしたい。

（事務局）

・地下水の保全については、グリーンインフラの視点で今後も連携して考えていきたい。

— 以上 —